

2022年7月20日

No. 634

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
社団法人 電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
antei1@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

第12回全国和牛能力共進会 福島県最終選抜会(種牛の部)について

公益社団法人全国和牛登録協会福島県支部

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の最終比較審査まで、約80日あまりとなり、福島県出品対策スローガン「新たな時代を駆け抜ける 福島牛 今 躍進」を旗印として、令和4年7月11日(月)に福島県家畜市場において、第12回全国和牛能力共進会福島県代表牛選抜会(種牛の部)を行い、各地区から、選抜された44頭が集結し、第2区、第3区、第4区、第6区の出品牛代表牛が決定いたしました。

福島県からは種牛の部11頭、肉牛の部7頭、合計18頭の出品を計画しており、今後については、福島県出品対策委員会を中心とした指導会などを行い、出品牛の能力を最大限に引出し、福島牛の魅力を全国で発信し、上位入賞を目指します！

肉牛の部の代表牛7頭については、8月下旬に超音波診断、体型測定等の巡回調査を行い、8月26日に出品牛を選抜いたします。

■第12回全国和牛能力共進会 福島県代表牛名簿(種牛の部)

出品区 〔名称〕	名号		血統			出品者	
	登記/登録番号	個体識別	父	母の父	祖母の父	所属	氏名
第1区 〔若雌〕	福匠勝(希28) 2021子受卵福黒1627032474	令03.03.29 16270-3247-4	勝隼茂	勝忠平	平茂晴	福島県	福島市荒井 福島県農業総合センター 畜産研究所
第2区 〔若雌の1〕	やどのこと703 2021子未来黒1377430759	令03.06.25 13774-3075-9	勝忠安福	安福久	勝忠平	JAふくしま未来	二本松市 齋藤 正剛
第3区 〔若雌の2〕	ぼたん 2021子夢黒1355372675	令03.05.04 13553-7267-5	勝忠安福	百合茂	美津福	JA夢みなみ	石川郡石川町 緑川 幸一
第4区 〔繁殖雌牛群〕	れんかの2 黒原1757299	平29.11.15 15193-0737-6	幸紀雄	安福久	平茂晴	JA福島さくら	双葉郡葛尾村 株式会社 牛屋
	ひろみ 黒原1721212	平28.09.03 13925-9148-0	幸紀雄	安福久	平茂勝		田村郡三春町 過足 重治
	りおん 黒原1774957	平30.04.29 13436-5366-3	美国桜	勝忠平	平茂勝		郡山市 宗像 勝彦
第6区 〔総合評価群〕	かつ13 2021子福島黒1596330946	令03.02.03 15963-3094-6	勝忠安福	百合茂	安福165の9	JA福島さくら	田村市船引町 鈴木 新一
	あまちゃん31 2021子福島黒1619441567	令03.03.22 16194-4156-7	勝忠安福	美津照重	安福久		田村市船引町 吉田 辰男
	はるか103 2021子福島黒1354060092	令03.03.21 13540-6009-2	勝忠安福	美津照重	安福久		田村市常葉町 株式会社JA和牛ファーム
	きよ209 2021子福島黒1412954851	令03.02.07 14129-5485-1	勝忠安福	百合茂	安福久		田村市常葉町 浦山 公利
特別区 〔高校〕	みこい3 2021子福島黒1586960665	令03.07.27 15869-6066-5	勝忠安福	美津照重	勝忠平	JA福島さくら	いわき市植田町 福島県立磐城農業高等学校

■第12回全国和牛能力共進会 和牛審査競技会参加者

和牛審査競技会部門	所属名	氏名
女性・後継者の部	JAふくしま未来	渡辺 恋音
高校生の部	福島県立磐城農業高等学校	岡部 美知留



「有限会社会津地鶏みしまや」が農場HACCP認証を取得

福島県会津家畜保健衛生所

令和4年4月27日、「会津地鶏」を生産する「有限会社会津地鶏みしまや」が農場HACCPの認証を取得しました。

農場HACCPの認証は、県内では5農場目で、肉用鶏での認証は県内初であるとともに、会津地方では初の取得となりました。

1 農場概要

- (1) 農場名：有限会社会津地鶏みしまや
- (2) 所在地：大沼郡三島町
- (3) 代表者：小平和広（代表取締役）
- (4) 経営内容：飼養羽数：約3,400羽、年間処理羽数：約10,200羽（令和3年度）
- (5) 特色：平成20年から自社で会津地鶏の飼育を行い、自ら食鳥処理、販売まで一貫して行っている。県内を中心に全国規模で販売。

2 取組の経緯

有限会社会津地鶏みしまやでは、安全な畜産物を消費者に提供するとともに、衛生的な農場経営を実現するために、平成22年から農場HACCP認証の取得に向けた取組を開始しました。東日本大震災の影響による取組の中断もありましたが、平成29年から取組を再開し、令和4年4月19日に実地審査を受け、令和4年4月27日に認証となりました。

取得については、各種新聞にも掲載されるとともに、福島県農林水産部長への表敬も行われました。

3 取組の概要

平成29年度から、関係機関からなる支援チーム（三島町役場・民間獣医師・会津農林事務所（喜多方普及所・会津坂下普及所含む）・農業総合センター畜産研究所・会津家畜保健衛生所（事務局））を立ち上げ、支援体制を整備し、定期的な打合せ、飼養衛生管理基準状況の現地確認、

必要書類の作成と台帳の整備等を行い、有限会社会津地鶏みしまやの認証取得の支援に取り組みました。

4 今後の展開

有限会社会津地鶏みしまやは、平成20年から福島県が普及している会津地鶏の自社生産を開始して以降、生産から食鳥処理・加工・販売までの一貫したシステムを強みに、地鶏特有のコクのある味と歯ごたえをアピールし、会津管内のホテルや飲食店を中心に販路を開拓してきました。また、「三島町産会津地鶏」として会津ブランド地域産品認定を受けるとともに、幅広い消費者ニーズに応えるため、6次化商品の生産販売も取り組んでおり、商品数も年々増加させています。ホームページには、「三島町産会津地鶏」が食べられるお店が掲載されており、会津管内の一部の直売所、道の駅及びスーパーで地鶏肉が販売されているほか、オンラインショップでも購入可能です。

今般、農場HACCP認証を取得したことで、「安全安心な地鶏肉」を新たなセールスポイントとして、コロナ禍による影響からの脱却にとどまらず、さらなる販売量増加が期待でき、福島県の畜産復興に大いに貢献できる可能性を秘めております。

当所としては、今後も継続して農場HACCPに取り組むことができるよう、関係機関一体となって引き続き支援を行ってまいります。

（※）農場HACCP認証

農場HACCPの取組に対する第三者認証。農林水産省が平成21年に公表した「畜産農場における飼養衛生管理向上の取組認証基準（農場HACCP認証基準）」を基に、認証機関による審査を受け認定される。



小柴福島県農林水産部長（左）を表敬した小平社長（右）



6次化商品の一部 写真の商品は会津地鶏缶詰（会津農林事務所提供）

福島県酪農青年研究連盟主催
第53回福島県ホルスタインショー開催!!

福島県酪農業協同組合

👑 グランドチャンピオン

経産牛の部 OK マツカチエン S ライラック 号

福島市 鈴木奨悟 氏

未經産牛の部 アイデール ドック バイウエイ ジーピー 号

双葉郡川内村 井出 淳 氏

4月27日(水)に本宮市の福島県家畜市場にて、福島県酪農青年研究連盟主催(福島県後援)「第53回福島県ホルスタインショー」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策を万全に行い、皆様にご協力いただくことで、3年ぶりに本大会を無事開催することができました。

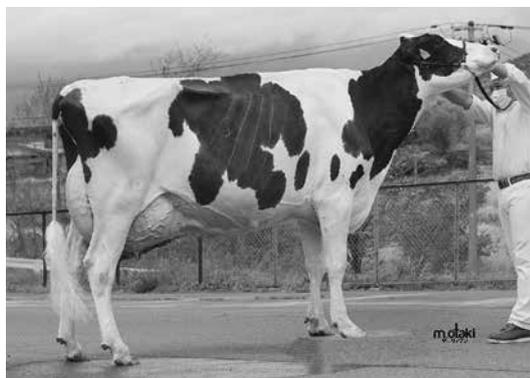
審査長に福島県農業総合センター畜産研究所の坂本 秀樹氏、審査員にオールジャパンブリーダーズサービス株式会社 永田 琢也氏をお迎えし、厳正なる審査を行って頂きました。

出品区分を6部制にて開催された今回の大会では、県内各地より25頭が出品されました。ホルスタイン種の改良促進に必要な飼養管理と乳牛に関する知識の普及啓蒙を図り、酪

農経営の合理化に寄与することを目的に開催されています。

審査の結果、経産牛の部において、福島市の鈴木 奨悟さん出品の「OK マツカチエン S ライラック号」が、未經産牛の部において双葉郡川内村の井出 淳さん出品の「アイデール ドック バイウエイ ジーピー号」が、グランドチャンピオンの栄光に輝きました。また、ベストショーマン賞は、鏡石町の目黒啓太さんが受賞されました。受賞された方々はおめでとうございます。

久しぶりに会員同士・仲間同士が参加し、活動することができました。今後もホルスタインショーを末永く続けていけますよう、皆様のご支援とご協力の程よろしく願い致します。



経産牛グランドチャンピオン



未經産牛グランドチャンピオン



集合写真

福島県酪農業協同組合第29回通常総会開催

福島県酪農業協同組合

第29回通常総会が、6月21日(火)に郡山市日和田町の福島県農業総合センターにて開催されました。

新型コロナウイルスが猛威を振っていた状況も収束に向かうなかで、今年度の総会より3年ぶりの通常形態の開催を無事に終えることができました。

紺野組合長は、「一定のワクチン接種が進むなか、政府、行政等の行動制限解除により、感染症対策を実施しながら少しずつ経済活動が動き始めました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大後は飲食業界をはじめとし、牛乳・乳製品の需要減少に影響を及ぼしています。

バターの在庫量においては前年比101.8%、39,574tとなり、在庫減少対策を実施するも在庫量としては大幅に積みあがっているのが現状であります。また、コロナ禍だけでなく、ロシアによるウクライナ侵攻、円安の影響もあり輸入粗飼料の高騰が加速しさらに苦しい経営を強いられています。

令和3年度は第八次中期経営3カ年計画の初年度でもあり、また昨年10月1日に合併した酪王協同乳業の始動によりこれまで以上に県民に愛される牛乳、乳製品の製造に力を入れていきたいと思っております。

組合員の皆様には事業運営へのご理解、ご支援お願い申し上げます。」と挨拶を申し上げます。

来賓挨拶では、福島県農林水産部長 小柴宏幸様、福島



紺野組合長挨拶

県議会議員 渡辺義信様、衆議院議員 金子恵美様、全国酪農業協同組合連合会代表理事会長 隈部 洋様、東北生乳販売酪農業協同組合連合会代表理事会長 伊藤一成様より祝辞をいただきました。

正組合員207名、うち本人出席31名、代理出席2名、書面議決書126名で計159名の出席となりました。議長には県中地区の陣野原進氏が選任され、全議案賛成多数で承認、通常総会を無事終了することができました。

通常総会の席において表彰されました購買事業系統利用上位組合員、セリ市場販売価格上位組合員、乳質改善優良組合員・事務所、組合員総合精励表彰、特別表彰、職員永年勤続表彰を受賞された方々の常日頃の努力、活動に対し敬意を表します。おめでとうございます。



総会風景

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



「強化」哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL: 0243-33-1101(代)

令和4年度公益社団法人福島県獣医師会通常総会開催

公益社団法人福島県獣医師会

令和4年6月9日(木)に令和4年度通常総会が福島市ホテル福島グリーンパレスにおいて開催されました。

新型コロナ禍が未だに続いている事もあり、新型コロナワクチン接種を2回以上接種している方の参加とし、マスク着用、手指の消毒、三密を避けるなどウイルス感染症防止対策を施しながらの開催となりました。

総会は、三林芳郎理事(会津支部)による開会宣言がされ、続いて会長の挨拶が行われました。

今回、特別功労者として福島県農業共済組合に在籍され、診療業務に従事しながら獣医学博士号を取得された吉山袖氏を表彰いたしました。

同氏は2018年に岩手大学大学院獣医学研究科及び東京農工大学大学院農学府の共同獣医学専攻に進学し学究に励まれ「周排卵期の卵胞発育動態が黒毛和種雌牛の受胎性に

及ぼす影響に関する研究」で学位論文をまとめ、2022年3月に獣医学博士号を授与されました。このためまぬ努力にあらためて敬意を表します。

永年会員功労者は野口みき氏(県北支部)、佐瀬千佳子氏(郡山支部)、鈴木美奈子氏(県中支部)、角田毅氏、藤本尊雄氏、山内啓司氏(会津支部)、山田なおみ氏、小森淳子氏、山本光紀氏(相双支部)、高倉優子氏(いわき支部)の10名となっており、出席した3名(山田なおみ氏、野口みき氏、佐瀬千佳子氏)に表彰状を会長から授与しました。

提出議案については慎重審議の結果、上程された3議案とも原案の通り承認されました。

今後とも本会の事業推進に当たりご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



総会における浦山会長の挨拶



特別功労者を受賞した吉山袖氏



永年会員功労者を受賞した3名
(左から佐瀬千佳子氏、山田なおみ氏、野口みき氏)



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



セリアック
ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おうち
はちみつは
いかが！

令和4年度第1回通常総会開催

公益社団法人福島県畜産振興協会

令和4年6月29日福島市「県土地改良会館」において、第1回通常総会が開催されました。

紺野宏会長の挨拶の後、議案第1号令和3年度事業報告書及び財務諸表の承認の件、議案第2号役員員の補欠選任の議案は、全会一致により原案どおり承認されました。なお、新しい役員は以下のとおりです。

区分	氏名	所属機関・団体
理事	安田 宏幸	福島県農林水産部 技監
理事	小林 正司	福島県農業共済組合 組合長理事

新型コロナウイルスの影響による畜産物の消費の停滞に加えて、ウクライナ・ロシア紛争による世界経済の混乱により、配合飼料価格をはじめとする諸資材が高騰するなど、かつてない極めて厳しい状況に直面しています。

協会としましては、畜産関係団体、国、県、市町村はもとより生産者と一体となって、畜産農家の経営支援、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付制度、家畜改良事業、家畜伝染病の防疫・衛生対策事業等を円滑に進めるとともに、本県畜産物の安全性のPR及び風評の払拭に向けて役職員一丸となって取り組んで参りますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



紺野会長挨拶

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用 各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(0243)631-2488

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)553-6678

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字の上一
☎(024)945-1306

株式会社アグロジャパン
南東北営業部(福島)
郡山市開成六丁目六七一
☎(024)954-4171

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五
☎(024)577-3121

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎(0243)631-2488

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休業期間を
厳守しましょう」

●品質と信頼の●



くみあい配合飼料



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

福島県の鶏肉「会津地鶏」「川俣シャモ」「伊達鶏」 のコラボレーションで福島を元気に！

ふくしま三大ブランド鶏推進協議会

ふくしま三大ブランド鶏推進協議会は、会津地鶏みしまや、川俣町農業振興公社、伊達物産が中心となり、コロナ禍の続く2021年4月に発足しました。その背景には、各社とも福島の地域興しを目指していたことが大きく、また1社では出来ないことも3社が協力をすることで、より効果的に活動が行えるのではないかと考え、広報販促や商品開発、飲食や観光に関わる業界との連携、さらには地域の子どもたちや親御さんへの、鶏を通じた学びの機会「鶏育」の提供なども目指そうという事になり、協議会発足に至りました。

昨年の11月に協議会で行った鶏に関するアンケート結果によると、回答者313人のうち約9割が県内在住者ではありますが、8割強の253人が「会津地鶏」「川俣シャモ」「伊達鶏」の3つの鶏を「知っている」と回答しており、地元での認知度の高さが分かります。

また、福島県以外の知っている鶏について3つ回答をきいたところ、圧倒的に秋田県の比内地鶏と愛知県の名古屋コーチンとなっており、日本のブランド鶏は、現在2強のようです。

1位	比内地鶏	184人	81%
2位	名古屋コーチン	145人	64%
3位	宮崎地頭鶏	39人	17%
4位	薩摩地鶏	20人	9%
5位	青森シャモロック	16人	7%
6位	阿波尾鶏	15人	7%
7位	奥久慈シャモ	13人	6%
8位	大地地鶏	8人	4%
9位	南部どり	5人	2%
10位	桜姫	5人	2%

比内地鶏、名古屋コーチンとも素晴らしい鶏肉ではありますが、味だけで他のブランド鶏との間に、これほどの差が出るはずはなく、ブランド展開の差があると思われ（福島県の三鶏も、首都圏などの有名鶏料理店で扱われており、プロの料理人に認められた品質を誇っています）。

また出荷羽数も大きな要因と考えられます。九州地方や岩手県など出荷羽数の多い県は、消費者の目に触れる機会が多いことから、一般消費者への認知度の上では有利だと考えられますが、福島県の鶏の出荷羽数はそれほど多くありません。

しかし福島県には、地元でブランド鶏として認知されている鶏肉が3つもあり、それは、他県にはない大きな強みであると思います。そして三鶏各社が協力し、福島県を元気にしていくという大きな夢を持ち、協議会として活動を始めていますが、これは日本の文化（強み）である“助け合い”や“和”の力でもあり、今後の地方経済活性化の一つの形なのかも知れません。

昨年は福島市内の大学において、授業の中で三鶏について説明を行い、学生たちとともに商品開発や情報発信などのワークショップも行いました。学生による新商品のプレゼンテーションの中から、実際に商品化が予定されているものもあります。



ワークショップの様子

コロナ禍による需要減少やウクライナ問題による飼料の高騰など厳しい環境が続く中、今年5月には、野菜などの素材も福島県産にこだわった「ふくしま三大ブランド鶏まぜご飯の素」も発売しました。

私たちは地域の皆さんと協力をしながら、全国から「福島県に鶏を食べに行こう！」と言ってもらえることを目指し、夢を実現させたいと思います。



まぜご飯の素



公益社団法人福島相双復興推進機構 第5回畜産セミナーを開催

公益社団法人福島相双復興推進機構

「福島相双復興推進機構 第5回畜産セミナー」を、田村市の「テラス石森」およびオンラインにて、令和4年6月28日(火)に開催しました。

今回のセミナーでは地域の飼料自給率向上に着目して、栃木県茂木町で和牛を放牧し「もてぎ放牧黒毛和牛」とブランド化して育てる瀬尾ファーム代表の瀬尾亮(せお まこと)氏にご講演いただき、その後地元の畜産農家様をはじめ会場の皆様で気軽に質問や意見を交わせる座談会を行いました。

セミナーには畜産農家の皆様をはじめ、オンラインでの参加者を含め、全国から約80名のご参加をいただきました。講演後の質疑や座談会での意見交換では、皆様活発に

ご発言いただき、本当にありがとうございました。

会場からは「自分があきらめたら終わりです」という瀬尾氏の言葉に感銘を受けたとの意見を始め、現地見学会を実施してほしいとの要望など、多数の意見をいただきました。

福島相双復興推進機構では、皆様からいただいたご意見を踏まえ、畜産農家の皆様のお役に立てるよう、引き続き、活動を進めてまいります。

(福島相双復興推進機構ウェブサイト)
<https://www.fsrt.jp/>



瀬尾講師



座談会の様子

セリで導入した去勢肥育素牛での短期肥育

近年の配合飼料価格の高騰等の影響により効率的な肥育経営が求められています。このような中、沼尻分場では平成30年よりJAグループ福島様からの寄付金等を活用し、短期肥育に取り組んでまいりました。今回、セリで導入した去勢肥育素牛を用いた短期肥育の試験成績がまとまりましたのでご紹介いたします。

供試牛は県家畜市場より9カ月齢未満で導入した黒毛和種去勢10頭(気高系8頭、糸桜系2頭)です。このうち1頭については著しい増体不良のため、体重の推移(図2)、枝肉成績(表4)のデータから除外し、5頭群飼であったので飼料摂取量に係るデータ(表1、表2、図1、表3)は用いることとしました。

区の設定ですが、2カ月の飼い直し期間中に粗飼料:濃厚飼料を重量比で約6:4と設定した区を粗飼料強化区とし、1カ月間で約4:6と設定した区を対照区としました。(表1)

出荷月齢は両区とも26カ月未満としました。

福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場

表1 区の設定

	飼い直し期 ^{注1}	
	期間	粗飼料:濃厚飼料 ^{注2}
粗飼料強化区 (n=5)	2カ月	約6:4
対照区 (n=5)	1カ月	約4:6

注1 濃厚飼料 粗飼料強化区 育成用(TDN69.0%、CP16.0%)、肥育用(TDN72.3%、CP13.3%)
バイパスタンパク(TDN81.5%、CP43.6%)
対照区 育成用(TDN69.0%、CP16.0%)、肥育用(TDN72.3%、CP13.3%)
大豆粕(TDN76.6%、CP46.1%)

粗飼料 稲わら、オーツヘイ

注2 飼い直し期間中の総給与量の重量比

注3 肥育期間の給与飼料は、注1からそれぞれ育成用飼料、オーツヘイを除いたものを給与。

それでは、試験結果に移ります。

飼い直し期間中の飼料摂取量は、粗飼料強化区が粗飼料51.8%、濃厚飼料48.2%、対照区が粗飼料37.6%、濃厚飼料62.4%となり、粗飼料強化区の方が粗飼料の割合が14.2ポイント高くなりました。(表2)

畜産福島

表2 飼い直し期間中における飼料摂取量

	(kg/頭)	
	粗飼料	濃厚飼料
粗飼料強化区 (60日間) n=5	241.2 (51.8%)	224.6 (48.2%)
対照区 (27日間) n=5	79.5 (37.6%)	132.0 (62.4%)

注 重量比

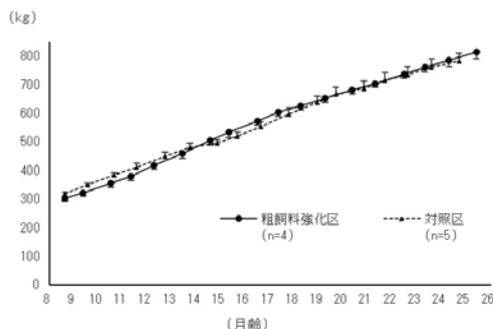


図2 体重の推移

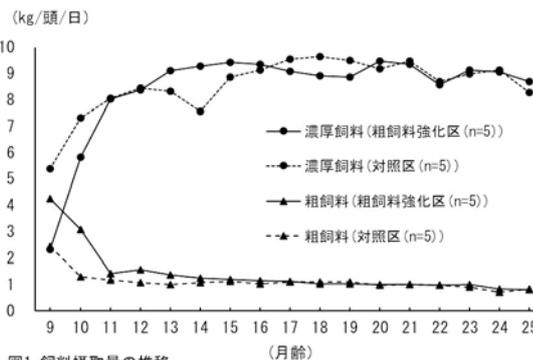


図1 飼料摂取量の推移

表3 1頭あたりの総飼料摂取量及び飼料費合計 (kg, 円(税込)/頭)

	飼料摂取量						飼料費	
	育成	オーツ	大豆粕	バイパス タンパク質飼料	肥育	わら	計	計
粗飼料強化区 (n=5)	29	202		44	4,184	546	5,005 (100)	233,394 (100)
対照区 (n=5)	57	59	40		4,238	526	4,920 (98)	224,461 (96)
	△ 28	143	△ 40	44	△ 54	20	85	8,933

注1 9カ月齢から出荷までの合計。

注2 飼料単価は育成58、肥育44、大豆粕89、バイパスタンパク質飼料172、稲わら53、オーツへイ55円/kg。

注3 括弧内数値は粗飼料強化区を100とした場合の比率。

注4 バイパスタンパク質飼料は飼い直し時の粗飼料多給期間のタンパク質を補充する目的で給与。

飼料摂取量は粗飼料強化区で17～19カ月齢（8～10月）、対照区で14カ月齢（12月）に落ち込みましたが全体的に概ね順調に推移しました。（図1）体重は両区とも概ね順調に推移しました。（図2）

粗飼料強化区の1頭あたりの総飼料摂取量及び飼料費は対照区とほぼ同等でした。（表3）

枝肉形質に係る枝肉成績について両区に差は無く、通常出荷（29.4カ月齢出荷）である全国平均と同等でした。（表4、写真1、2）

表4 枝肉成績

(単位: kg, cm², cm)

	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪	歩留基準値	BMSNo.	左記内訳
粗飼料強化区 (n=4)	25.8 ± 0.081	521 ± 9.31	64 ± 3.1	8.5 ± 0.11	3.0 ± 0.45	74.2 ± 0.690	7 ± 1	11=1頭 6=1頭 5=2頭
対照区 (n=5)	25.5 ± 0.103	494 ± 17.1	58 ± 4.0	8.2 ± 0.24	2.5 ± 0.32	74.0 ± 0.439	7 ± 1	9=1頭 7=2頭 6=1頭 4=1頭
(参考) 全国平均 ^{注1}	29.4	514	66	8.2	2.5	74.9	8	

注1 全国平均(去勢)「令和2年度枝肉成績とりまとめ(独)家畜改良センター」より。

注2 平均値±標準誤差。

注3 枝肉重量、ロース芯面積、バラ厚、皮下脂肪、歩留基準値、BMSNo. について有意差無し (t-test, p<0.05)。



写真1
粗飼料強化区
枝肉重量 512kg
ロース芯面積 69cm²
BMSNo.11



写真2
対照区
枝肉重量 485.5kg
ロース芯面積 55cm²
BMSNo.9

以上のことから、短期肥育を行った両区とも枝肉成績は通常出荷と同等でありながら、飼料費を抑え肥育回転率を上げることで収益性を向上できると想定されました。（表5）

なお、短期肥育の実施にあたっては、濃厚飼料の給与量のピークを前倒しするため、食い止まり・下痢・ビタミンA欠乏等について通常肥育に比べ早い段階から注意が必要です。

表5 1頭あたりの飼料費、肥育日数、肥育回転率 (円(税込), 日)

	飼料費	肥育日数	肥育回転率 (365日/肥育日数)
粗飼料強化区 (n=4)	233,394	519	0.70
対照区 (n=5)	224,461	513	0.71
(参考) 全国平均 ^{注1}	334,711	627	0.58

注1 「令和2年度畜産物生産費統計(去勢若齢肥育牛1頭あたり(農林水産省))」より。

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和5年度 学生募集



募集人員及び修業年限

全体定員 60名 修業年限 2年

水田経営学科 15名程度 花き経営学科 10名程度
野菜経営学科 15名程度 畜産経営学科 10名程度
果樹経営学科 10名程度

推薦入校試験

試験日 令和4年10月26日(水)
試験科目 小論文、学力試験(国語総合、数学I)
面接試験
出願期間 令和4年9月21日(水)
~9月28日(水)

一般入校試験(前期)

試験日 令和4年12月8日(木)
試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、
面接試験
出願期間 令和4年11月18日(金)
~11月30日(水)

一般入校試験(後期)

試験日 令和5年2月10日(金)
試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、
面接試験
出願期間 令和5年1月11日(水)
~1月31日(火)

※願書提出後に希望経営学科を変更できる期間を設定しています

【問い合わせ先】

福島県農業総合センター農業短期大学校 農業経営部 入試担当



〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1
TEL 0248-42-4113 FAX 0248-44-4553
E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

アグリカレッジ福島 検索

畜 産 福 島

肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和3年度第4四半期（令和4年1月～3月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交 雑 種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	730,200	589,500	311,800	231,200	324,400
補給金単価	—	—	8,200	—	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。

令和3年度においては、「その他の肉専用種」について、生産者補給金が交付されることとなりました。

【本県の交付状況】 交付対象頭数 21 頭 交付金額合計 172,200 円

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）発動状況

（単位：円）

販売月		肉専用種 （東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和4年1月	確定単価	0.0	0.0	50,295.6
	概算払い単価	0.0	0.0	45,274.8
	精算払い単価	0.0	0.0	5,020.8
令和4年2月	確定単価	0.0	12,519.9	51,054.3
	概算払い単価	0.0	8,449.5	47,174.7
	精算払い単価	0.0	4,070.4	3,879.6
令和4年3月	確定単価	0.0	0.0	50,246.1
令和4年4月	暫定単価	0.0	0.0	38,558.7
	概算払い単価	0.0	0.0	32,558.7
	精算払い単価	0.0	0.0	6,000.0
令和4年5月	暫定単価	0.0	0.0	42,066.9
	概算払い単価	0.0	0.0	36,066.9
	精算払い単価	0.0	0.0	6,000.0

※各支援対策による積立金納付猶予対象牛については交付金単価の3/4の支払となります。

※R3.7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から6,000円を控除した額となります。

家畜取引状況報告

令和4年4～6月 和牛子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込)

Table with columns: 開催月, 性別, 頭数(頭), 取引価格(円) [最高, 最低, 平均], 平均体重(kg), 平均単価(円/kg), 平均日齢(日), 販売先 [県内, 県外]. Rows for months 4, 5, and 6.

令和4年4～6月 乳子牛市場成績 (県家畜市場)

福島県酪農業協同組合

(税込)

Table with columns: 開催月, 種別, 頭数(頭), 取引価格(円) [最高, 最低, 平均]. Rows for months 4, 5, and 6.

令和4年4～6月 乳子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込)

Table with columns: 開催月, 資格, 頭数(頭), 取引価格(円) [最高, 最低, 平均], 平均単価(円/kg), 平均体重(kg). Rows for months 4 and 5.

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子 福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地 Tel 024-573-0515 Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

上段「ニュートラック福島」(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040 下段「オープス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

(8月)

Calendar for August showing race dates and venues (盛岡, 川崎, 大井, 船橋, 浦和, 名古屋).

(9月)

Calendar for September showing race dates and venues (盛岡, 川崎, 大井, 船橋, 浦和, 名古屋).

※ 発売日程は、変更になることがあります。 地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会